



infocom

インフォコム株式会社

2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

| 2023.10.31 | 証券コード：4348

Agenda



目次

2024年3月期 第2四半期決算

2024年3月期 業績予想

重点事業の取り組み



2024年3月期 第2四半期決算



2024年3月期 第2四半期 連結業績

- 電子コミックの好調により **増収増益**
- マーケティング強化を継続

売上高

400.5億円
前期比+21.2%

営業利益

41.7億円
前期比+12.6%

親会社株主に帰属する
四半期純利益

28.2億円
前期比+65.3%

経営成績

(億円)	2022年度 2Q実績	2023年度 2Q実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	330.3	400.5	+70.1	+21.2%
営業利益 (営業利益率)	37.1 (11.2%)	41.7 (10.4%)	+4.6	+12.6%
EBITDA	42.8	47.9	+5.0	+11.9%
経常利益	37.8	42.3	+4.4	+11.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益※	17.0	28.2	+11.1	+65.3%

※前期に連結子会社に関するのれん減損による特別損失を計上

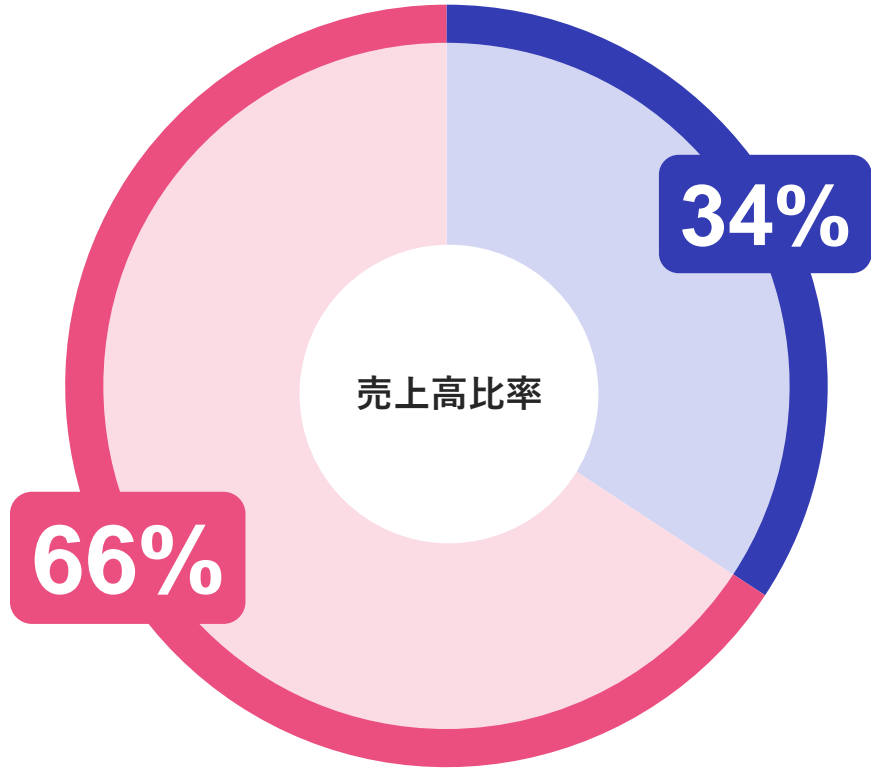
セグメントの構成

ネットビジネス・セグメント

電子コミック
電子コミック配信サービス



2022年度業績



ITサービス・セグメント

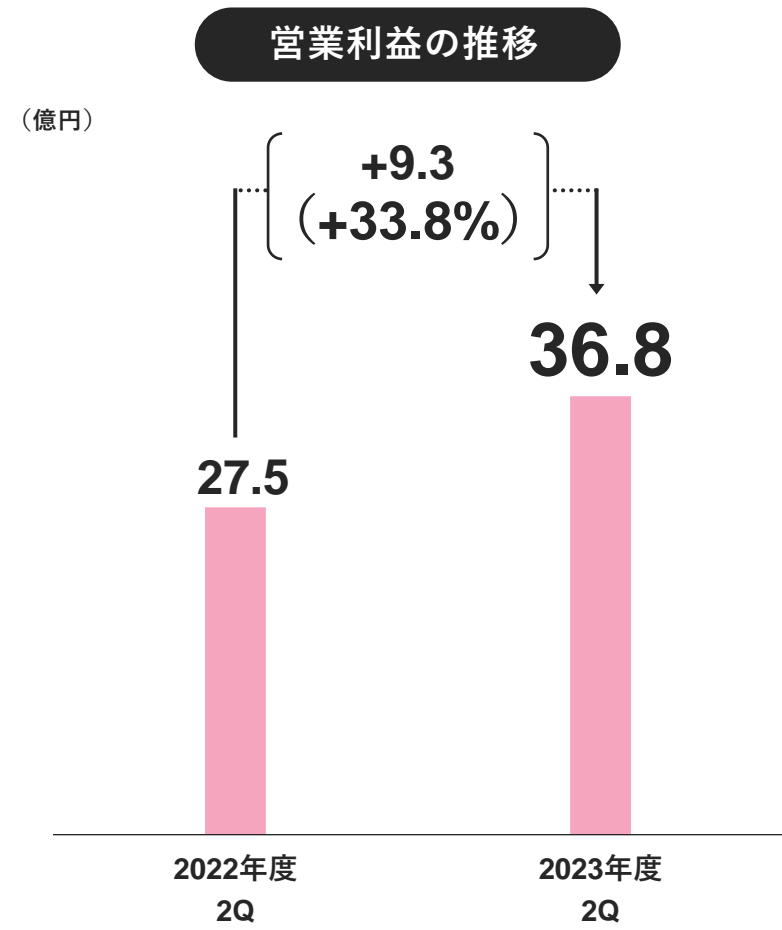
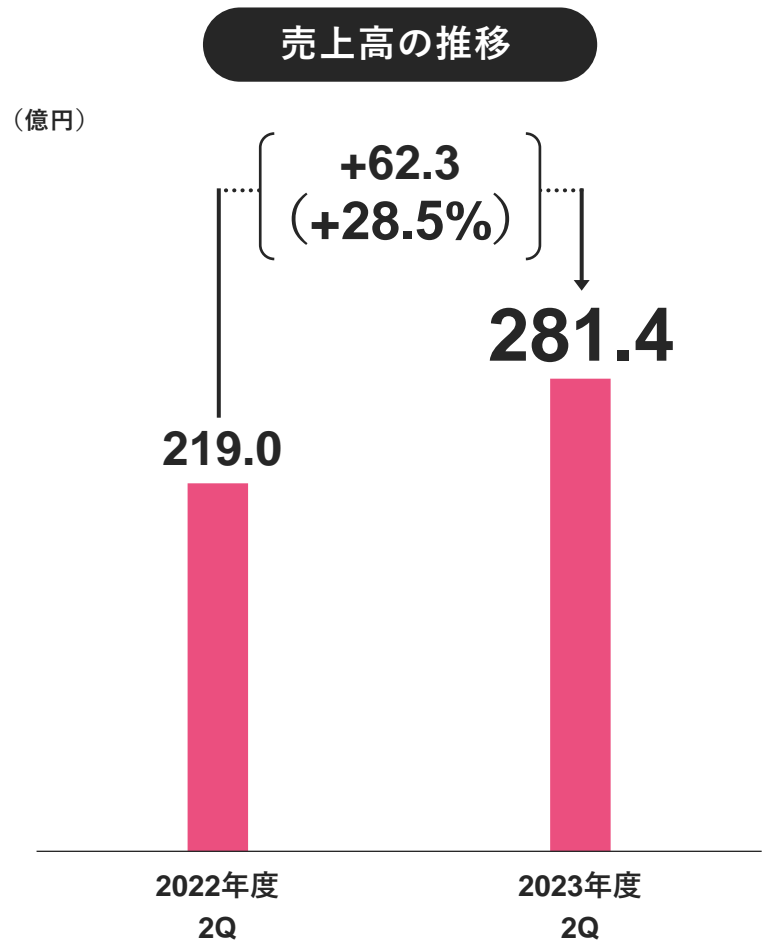
ヘルスケア
医療機関向け
パッケージ・サービス

サービスビジネス
ERP クラウドサービス
ビジネスパッケージ

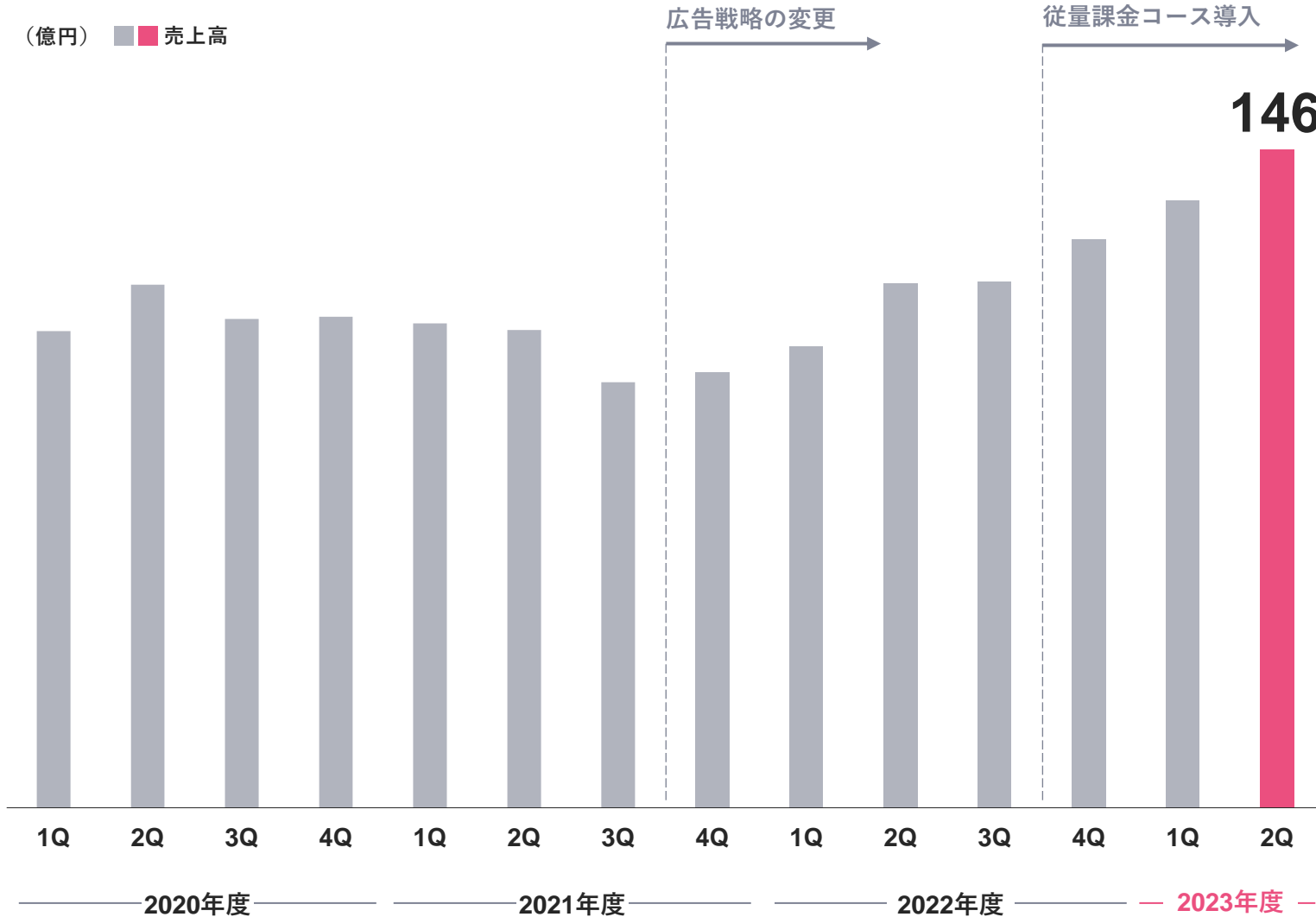
エンタープライズ
大手企業向け
システムインテグレーション

ネットビジネス・セグメント概況

従量課金コースが好調、効果的なマーケティングにより成長路線を維持



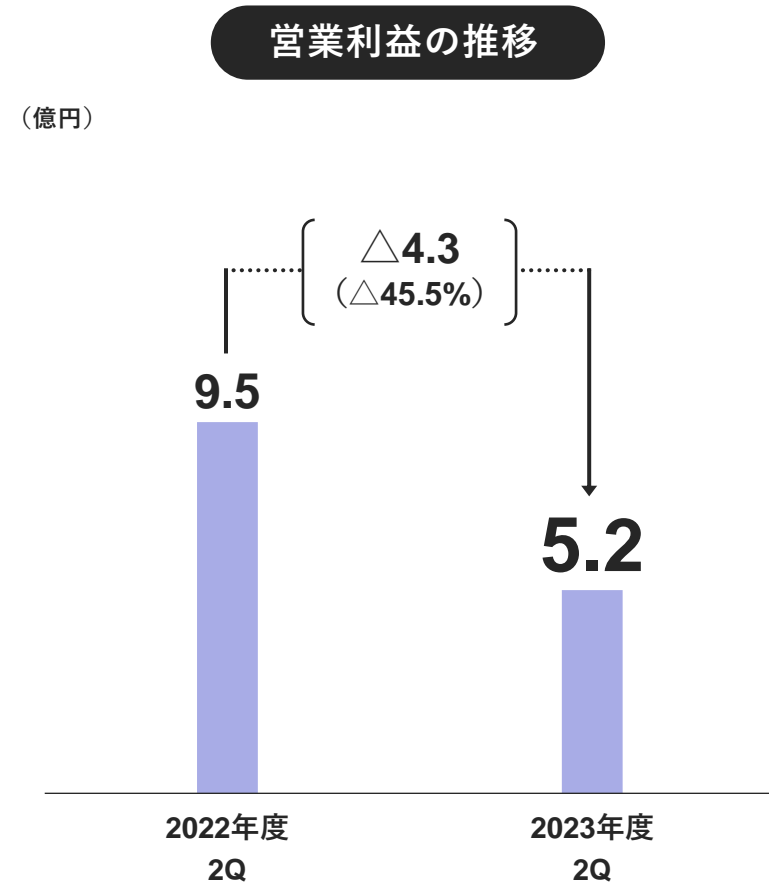
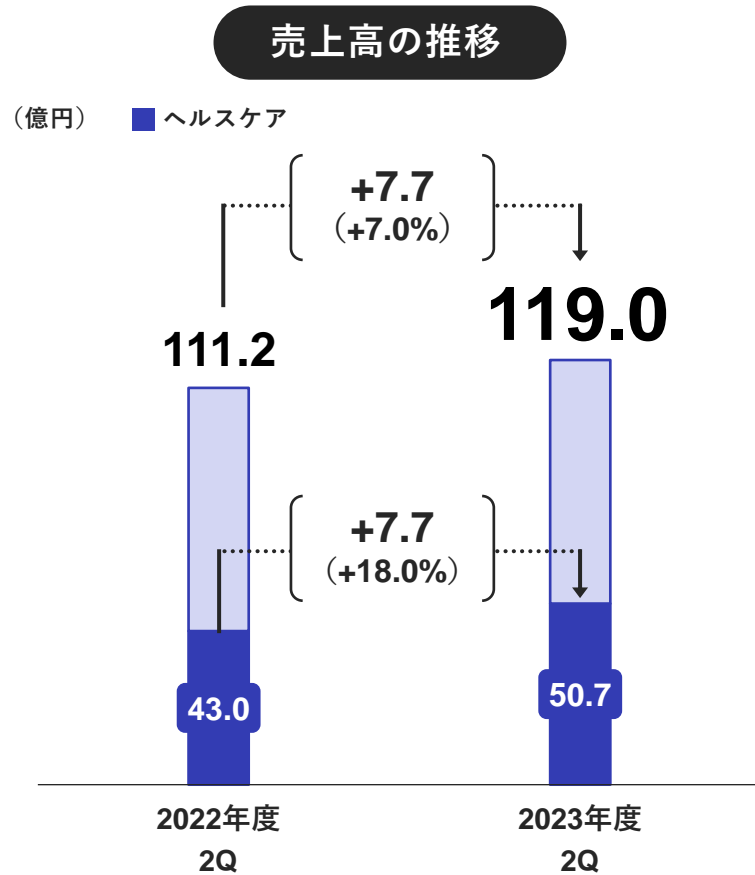
電子コミック事業の推移



- 効果的な広告投資
- 従量課金の効果
- 継続利用の促進

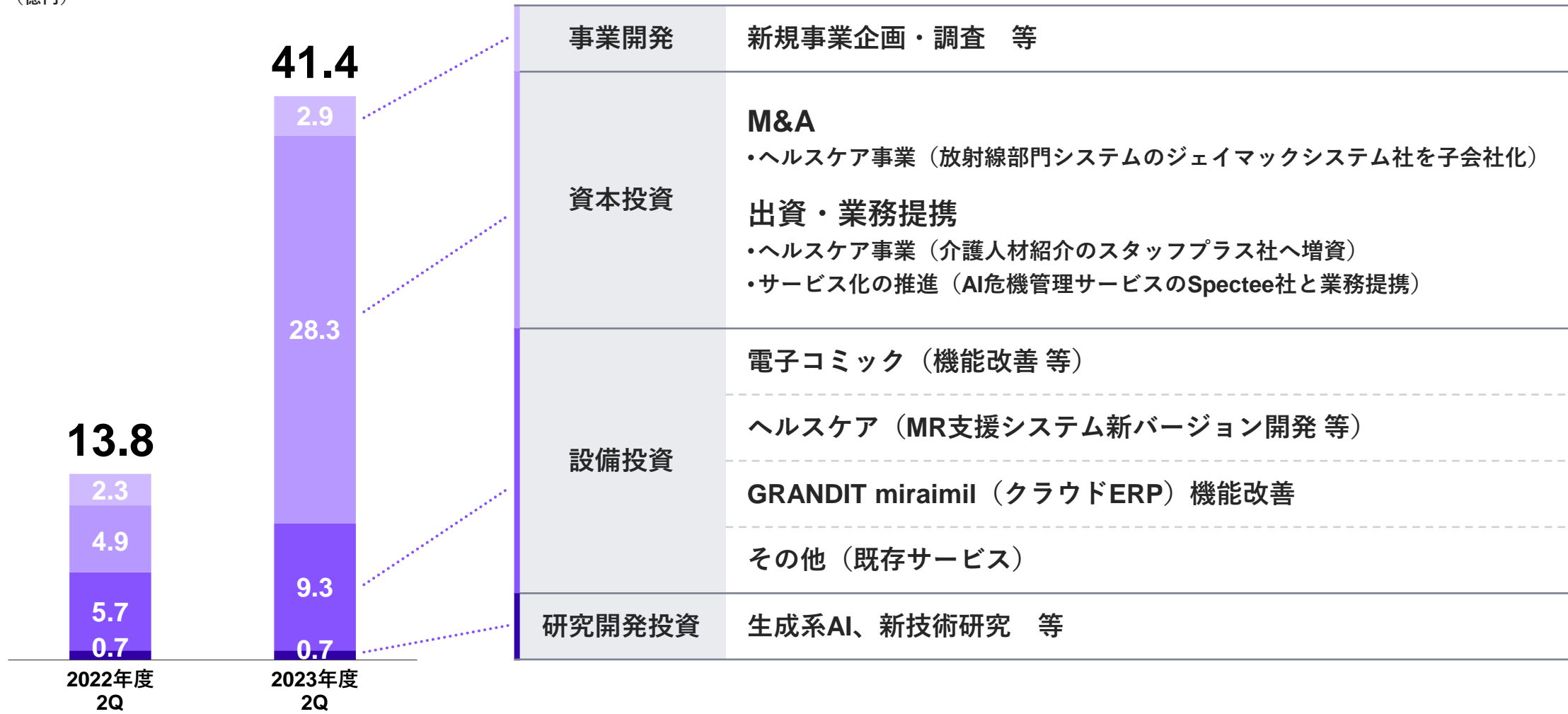
ITサービス・セグメント概況

病院向け、企業向け共に堅調に推移
 売上構成差及びサービス化に向けた先行投資により減益



投資実績

(億円)

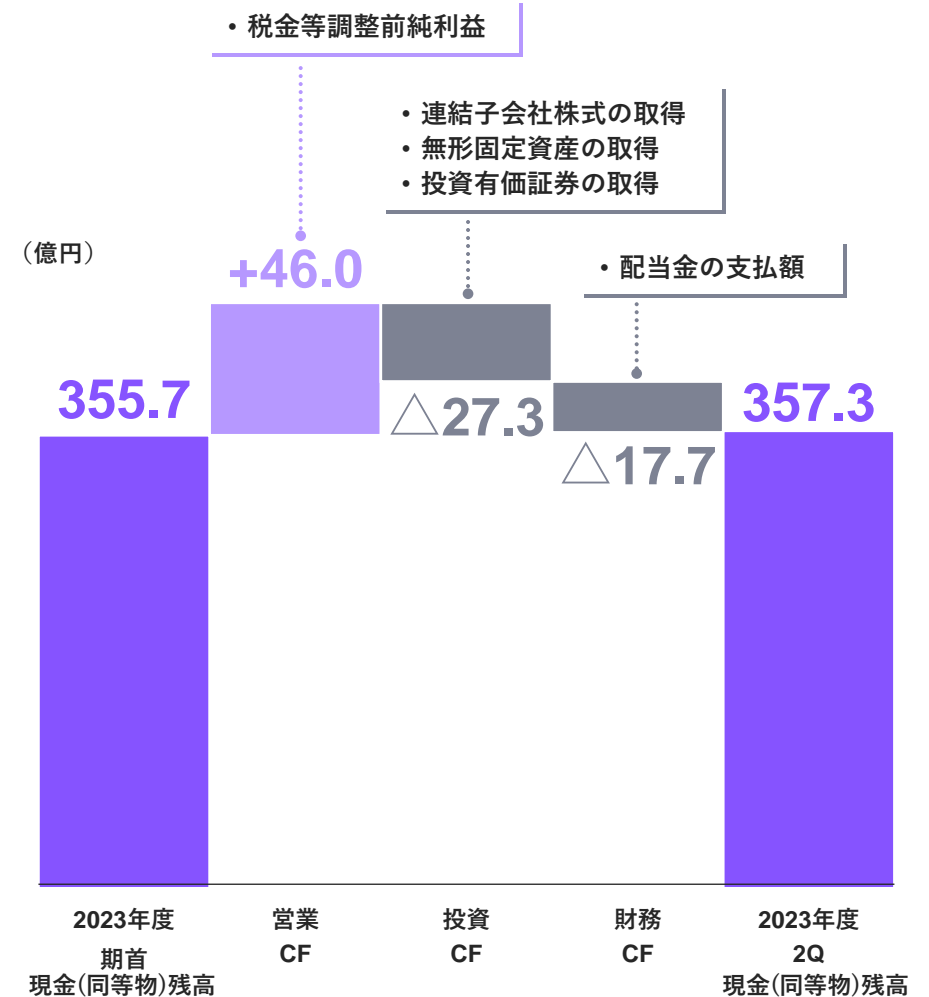


貸借対照表

(億円)	2022年度	2023年度 2Q	増減額	主な増減要因
流動資産	491.1	494.0	+2.9	・現金及び預金
固定資産	111.7	138.1	+26.4	・のれん、投資その他の資産
資産合計	602.8	632.2	+29.3	
流動負債	146.1	159.3	+13.1	
固定負債	4.7	8.1	+3.3	
負債合計	150.9	167.4	+16.5	
純資産合計	451.9	464.7	+12.8	・利益剰余金
負債・純資産合計	602.8	632.2	+29.3	
自己資本比率	74.3%	73.0%	-	

キャッシュ・フロー

(億円)	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減額
営業CF	43.0	46.0	+2.9
投資CF	△3.8	△27.3	△23.4
FCF	39.2	18.6	△20.5
財務CF	△20.6	△17.7	+2.8
現金及び現金同等物に 係わる換算差額等	0.7	0.6	△0.1
現金及び現金同等物の 増減額	19.3	1.5	△17.8
現金及び現金同等物の 期首残高	317.0	355.7	+38.7
現金及び現金同等物の 期末残高	336.4	357.3	+20.9



2024年3月期 業績予想

2024年3月期 連結業績予想

2023年7月31日に公表した通期業績予想に変更はありません

(億円)	2022年度 実績			2023年度 予想			前期比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	330.3	373.0	703.4	400.5	424.4	825.0	+121.5	+17.3%
営業利益 (営業利益率)	37.1 (11.2%)	48.1 (12.9%)	85.2 (12.1%)	41.7 (10.4%)	58.2 (13.7%)	100.0 (12.1%)	+14.7	+17.3%
EBITDA	42.8	53.0	95.9	47.9	62.0	110.0	+14.0	+14.7%
経常利益	37.8	48.0	85.9	42.3	57.6	100.0	+14.0	+16.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17.0	18.6	35.7	28.2	38.7	67.0	+31.2	+87.6%
1株当たり 当期純利益 (円)			65.20			122.28	+57.0	+87.5%
ROE			8.0%			14.3%	+6.3pt	-

セグメント別の業績予想

… ネットビジネス・セグメント …

(億円)	2022年度実績			2023年度			前期比	
	上期	下期	通期	上期(実績)	下期(予想)	通期(予想)	増減額	増減率
売上高	219.0	243.3	462.4	281.4	293.5	575.0	+112.5	+24.3%
営業利益 (営業利益率)	27.5 (12.6%)	32.8 (13.5%)	60.4 (13.1%)	36.8 (13.1%)	38.1 (13.0%)	75.0 (13.0%)	+14.5	+24.1%

… ITサービス・セグメント …

(億円)	2022年度実績			2023年度			前期比	
	上期	下期	通期	上期(実績)	下期(予想)	通期(予想)	増減額	増減率
売上高	111.2	129.6	240.9	119.0	130.9	250.0	+9.0	+3.7%
ヘルスケア	43.0	55.8	98.9	50.7	59.2	110.0	+11.0	+11.2%
営業利益 (営業利益率)	9.5 (8.6%)	15.2 (11.8%)	24.8 (10.3%)	5.2 (4.4%)	19.7 (15.1%)	25.0 (10.0%)	+0.1	+0.7%

株主還元

配当 ▶ 安定的な配当に加え、業績向上に連動した増配に努め、配当性向30%の維持を目指す

2023年度予想

1株当たり年間配当金

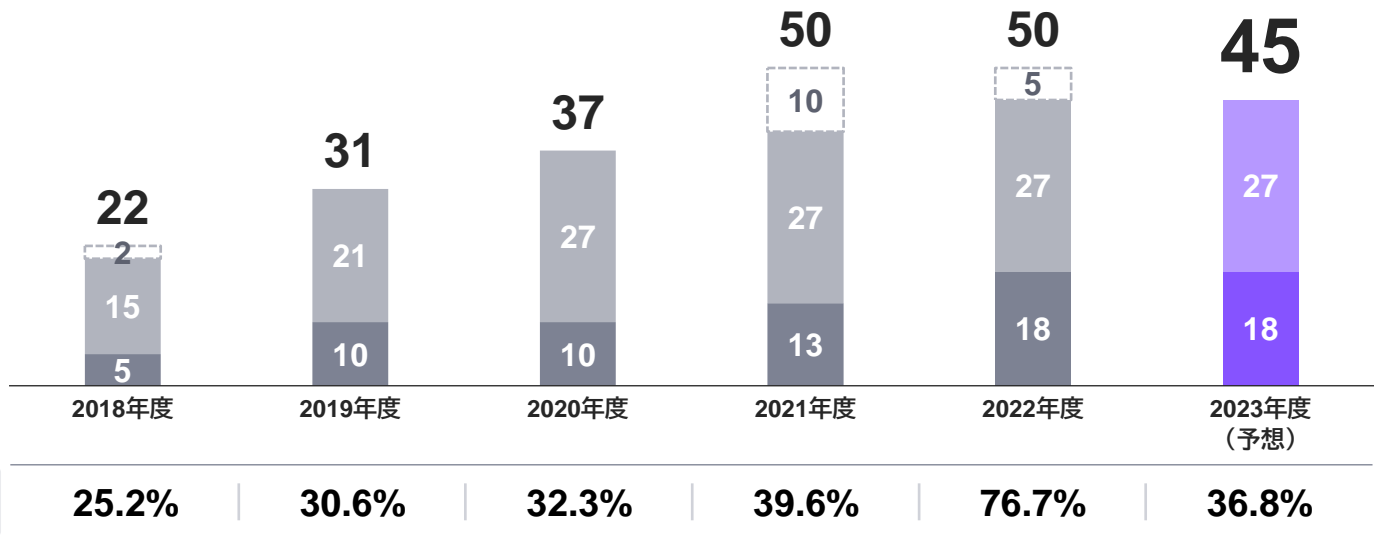
45円

配当性向

36.8%

1株当たり年間配当金の推移

(円) ■ 中間 ■ 期末 □ 記念配当



株主優待 ▶ 2023年9月30日現在の株主名簿記載の1単元以上保有株主様を対象に実施（11月末案内予定）

重点事業の取り組み

電子コミック

電子コミック事業の取り組み

1 国内配信事業の利益ある成長

- 積極的かつ効果的な広告投資実施
- 従量会員の獲得、サービス利用の活性化
- オリジナルコミックの質向上

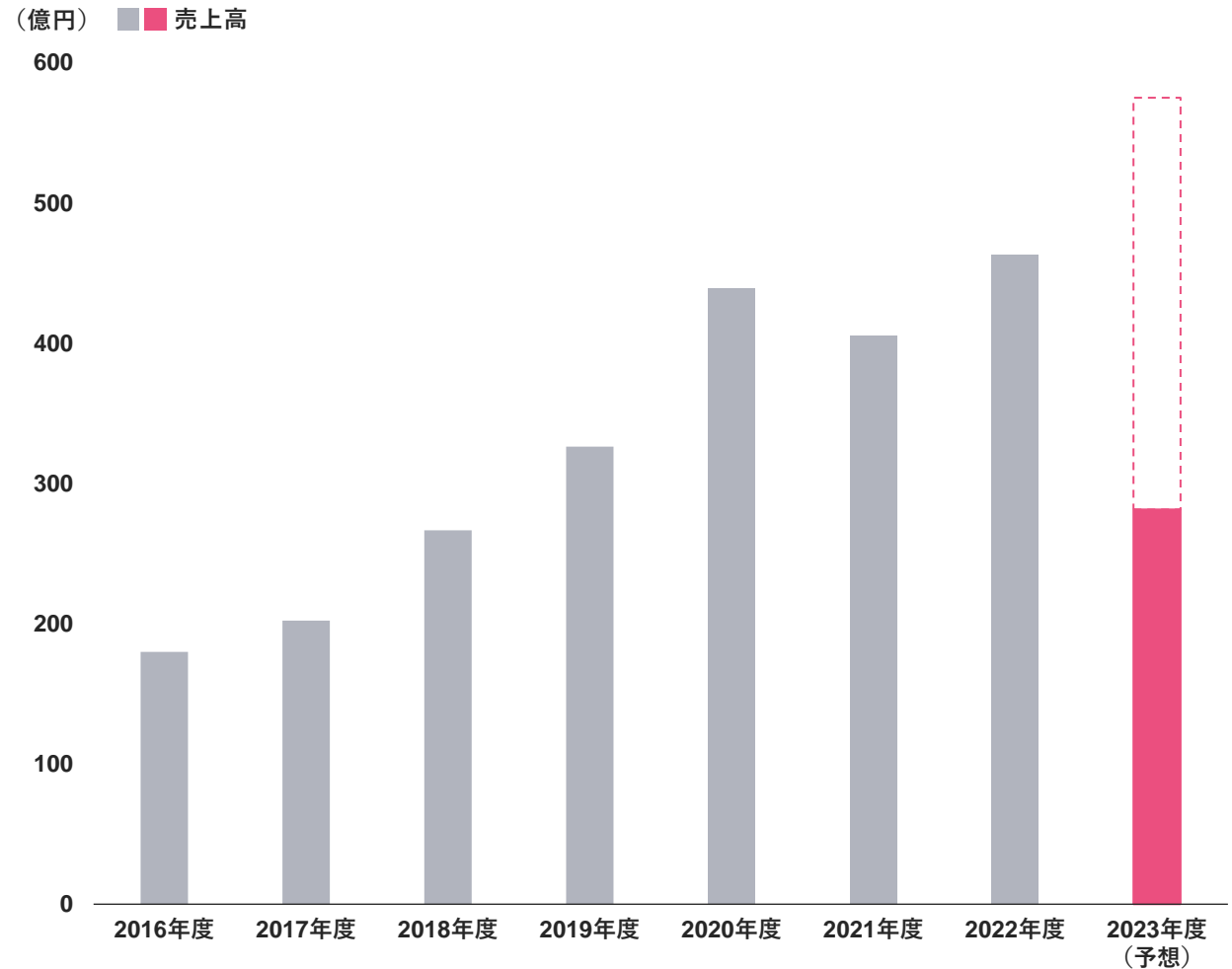
2 市場の拡大（海外展開）

- 韓国Peanutoon事業の更なる成長
- 米国配信事業を成長軌道へ

3 事業領域の拡大

- IP 開発
- M & A 等、周辺領域の事業探索

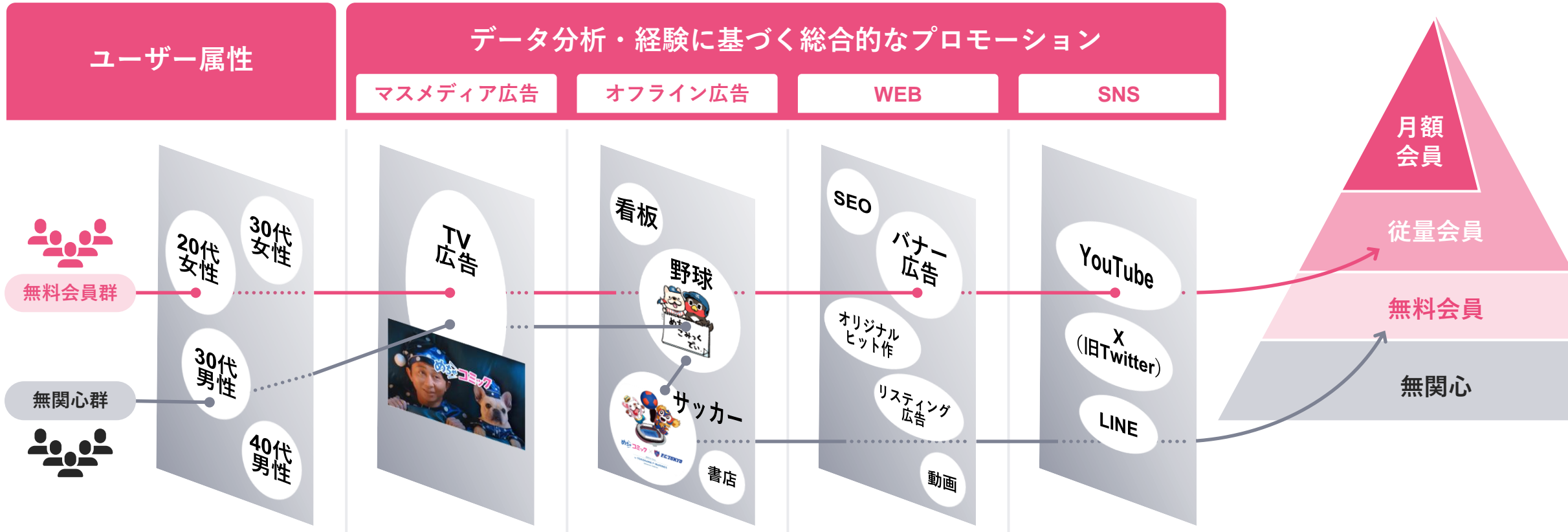
売上高推移



電子コミック事業の取り組み ① 国内配信事業の利益ある成長

● 積極的かつ効果的な広告投資実施

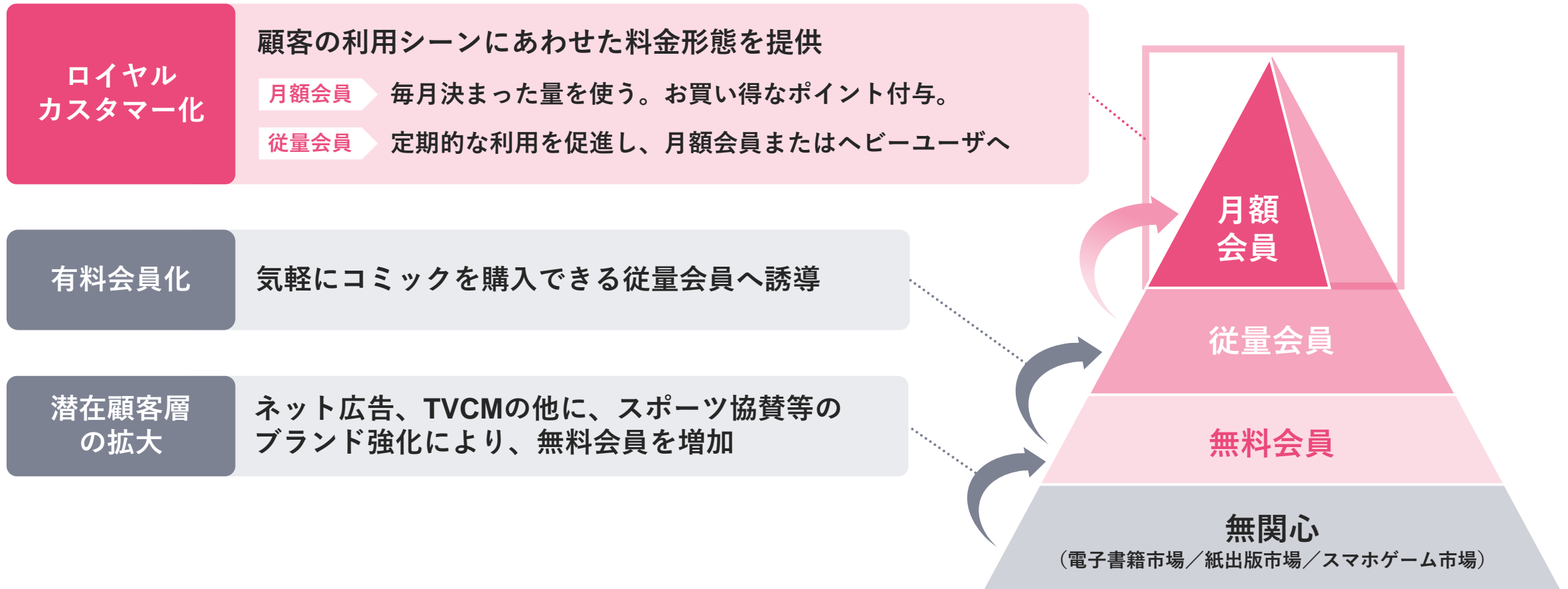
1. ターゲットユーザに対する適切なプロモーション施策
2. 従量制によるライトユーザ獲得
3. オリジナルや独占配信のヒットコンテンツによる誘導効果



電子コミック事業の取り組み ① 国内配信事業の利益ある成長

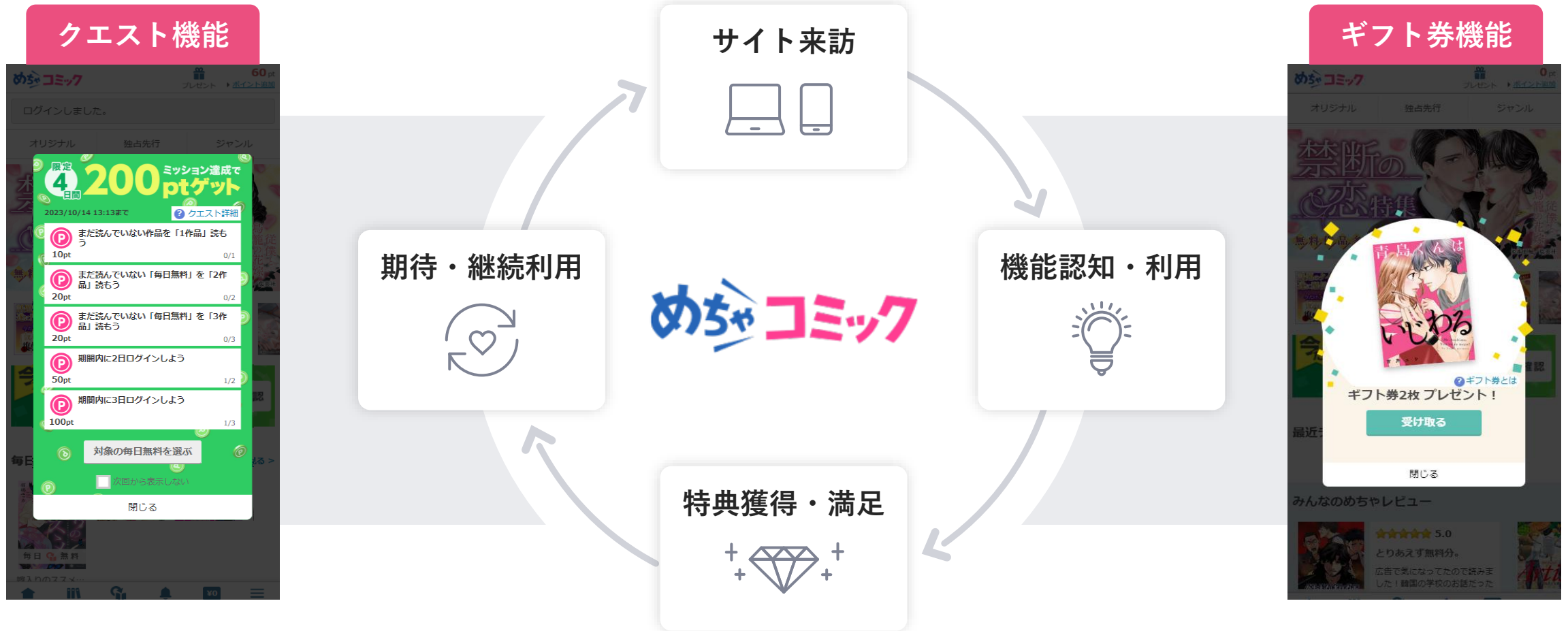
● 従量会員の獲得、サービス利用の活性化

– 従量制により有料会員化のハードルが下がり、実利用者が増加



電子コミック事業の取り組み ① 国内配信事業の利益ある成長

- 従量会員の獲得、サービス利用の活性化
 - 様々な施策を実施することで継続利用を促進し、ロイヤルカスタマー化を目指す



電子コミック事業の取り組み ① 国内配信事業の利益ある成長

● オリジナルコミックの質向上

– 分業制作の促進により、作品の質向上を実現し、人気の高いジャンルにも制作の幅を拡大

恋愛



今夜、うちにおいて
～冷徹上司の
理性が溶けたら
椿野イメリ

当社
9月ランキング
総合**2位**



男友達が激甘カレシに
なりました
御徒町鳩

時代物



離縁は致しかねます！
山口恵

異世界ファンタジー



王太子の花嫁
島くらげ／クマ三郎

小説等の漫画化



癒やしのお隣さんには
秘密がある
嶋伏ろう／梅澤夏子

当社
4月ランキング
総合**6位**



すみれのよりどころ
藤倉秀

投稿サービス作品



朧の花嫁
～かりそめの婚約は、
青く、甘く～
いなせ多希／みちふむ

当社
6月ランキング
総合**8位**

小説等の漫画化



皇妃さまの育児論
～2度目は
失敗いたしません！～
Anne／Steak／Jaha

小説等の漫画化

小説等の漫画化

TVドラマ化作品

電子コミック事業の取り組み

② 市場の拡大（海外展開）

③ 事業領域の拡大

② 市場の拡大（海外展開）

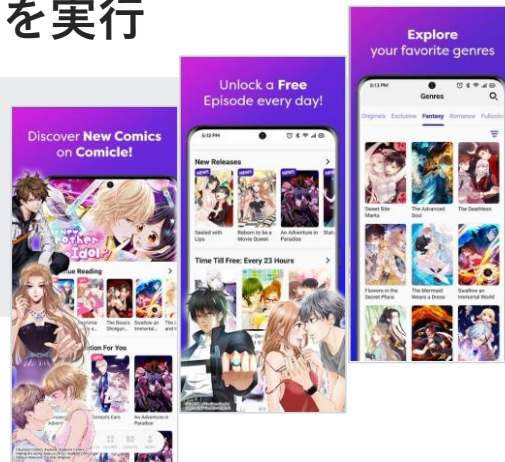
韓国 ▶ 得意ジャンルで差別化による成長

- ポイント割引等サイト内施策活性化による購買促進の強化
- コンテンツ競争の激化で成長が鈍化し、オリジナル制作を強化中



米国 ▶ 若年層を対象に、各種施策を実行

- 様々なジャンルのコミックによるユーザの志向把握
- ログインボーナス等利用促進策の実施



③ 事業領域の拡大

- ツインエンジン社と映像化に向けた企画を協議中
- オリジナルコミックのドラマ化実施



重点事業の取り組み

ヘルスケア

ヘルスケア事業の取り組み

① 国内病院向け事業の拡大

- 放射線システム製品をリニューアル
- ジェイマックシステム社を子会社化

② 就業管理システム (CWS) の拡大

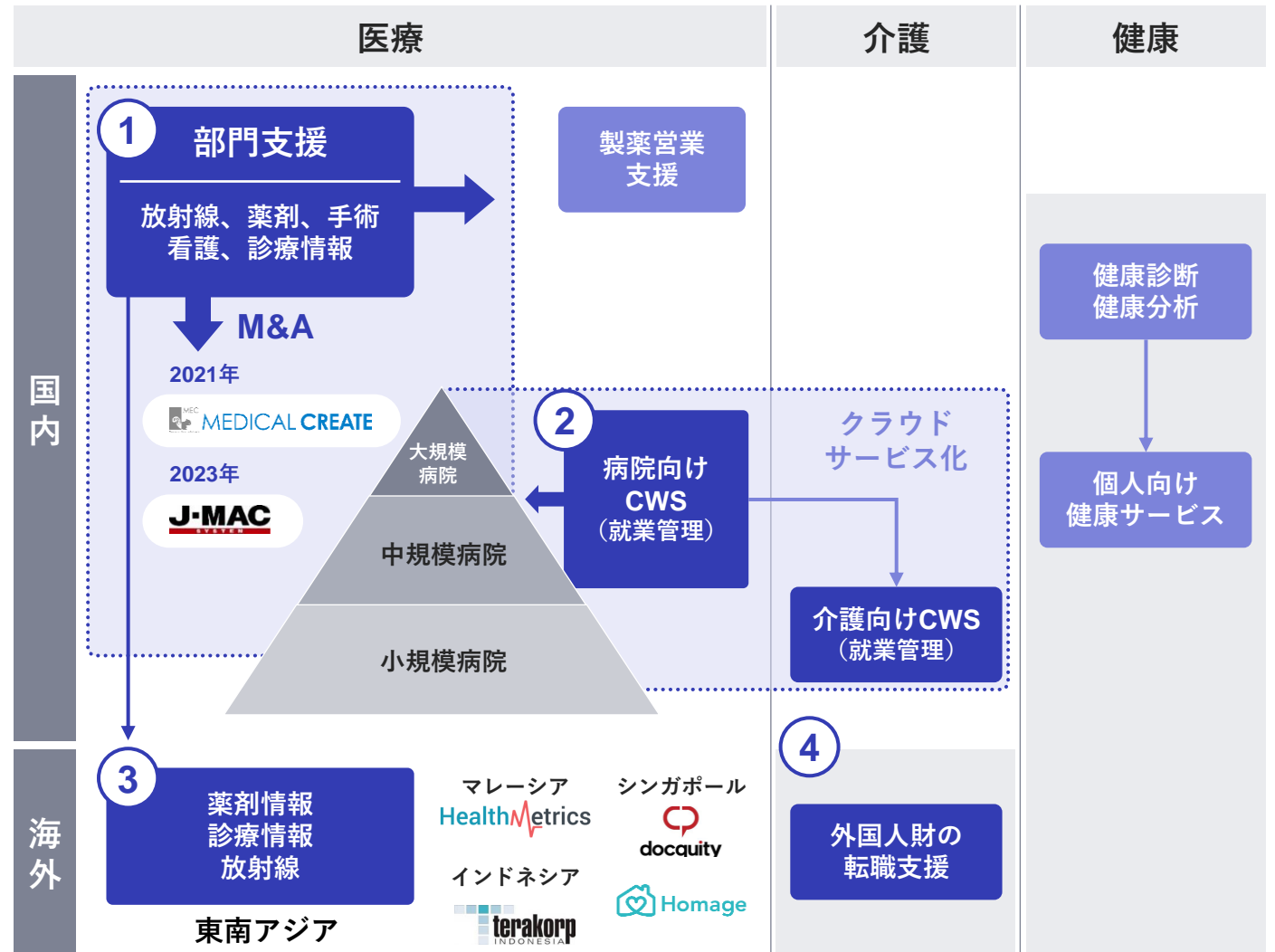
- 短期間で導入可能な製品をリリース
- 多様な販売経路を拡充
- 介護事業者向クラウドサービス提供

③ 海外事業領域の展開

- アジアでデジタル医療推進が加速
- 現地企業との協業を再開

④ 新規事業の基盤確立

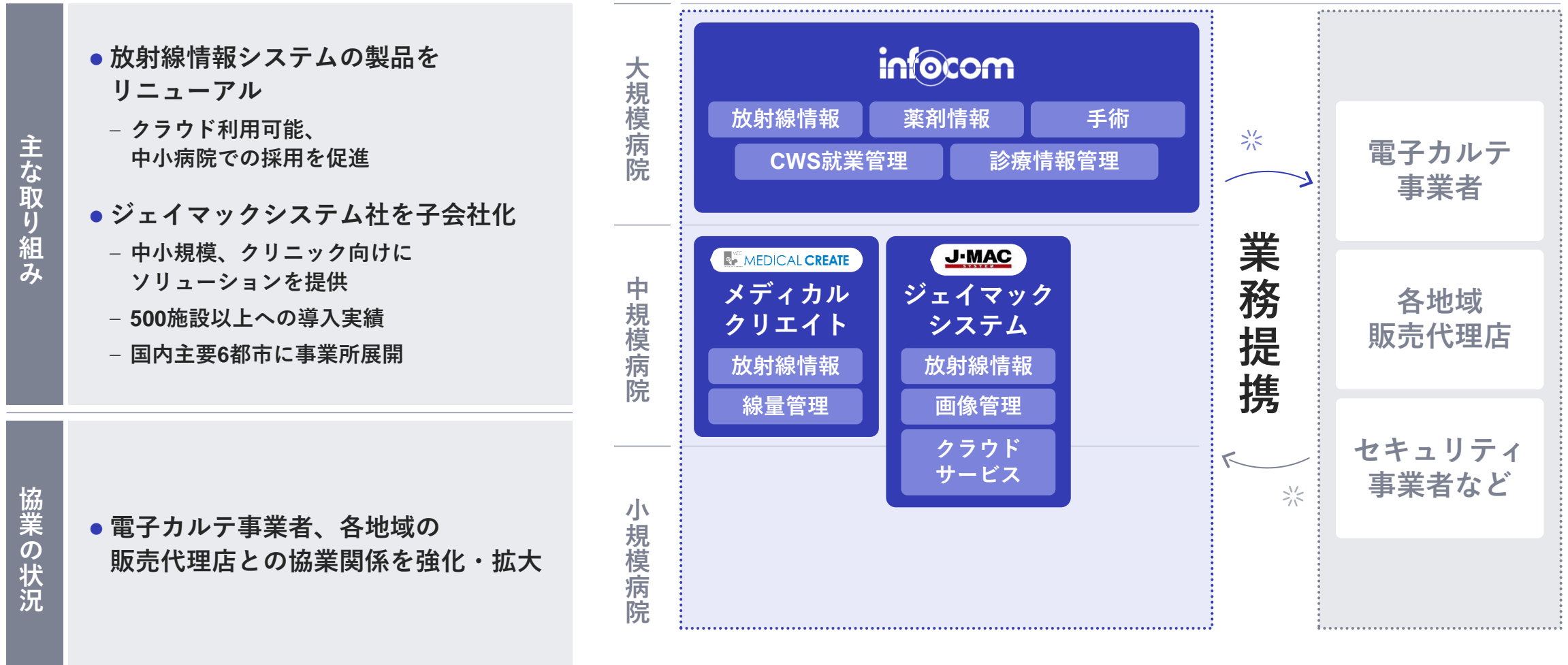
- 外国人介護人材サービスへの本格参入



ヘルスケア事業の取り組み

① 国内病院向け事業の拡大

● M&A・業務提携、製品リニューアルにより医療ITサービス領域を拡大



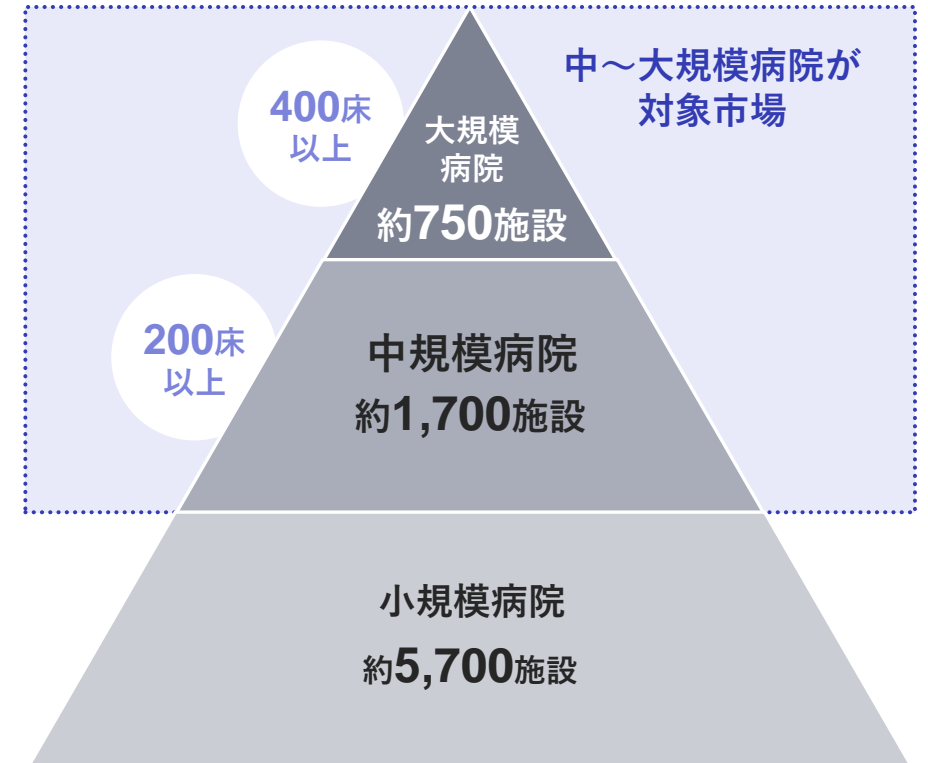
ヘルスケア事業の取り組み ② 就業管理システム (CWS) の拡大

病院向け ▶ 商談顧客数は前年同期比160%

介護向け ▶ 幅広い顧客層のニーズに対応する新バージョンをリリース

市場	<ul style="list-style-type: none"> ● 「医師の労働時間上限規制」開始によりシステム導入への関心が高まる
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の拡充 病院向け <ul style="list-style-type: none"> – 短期間での導入可能な「医師向け限定パック」提供開始 (4月) – 勤務間インターバルチェック オプション提供開始 (4月) ● 販売経路の拡充 病院向け <ul style="list-style-type: none"> – 入退室管理やセキュリティ事業者など幅広い事業者との協業を開始 – 需要増に向け、販売・導入体制を拡充 ● 販売製品の拡充 介護向け <ul style="list-style-type: none"> – クラウドサービス化した新バージョンをリリース – さらに幅広い介護事業者ニーズに対応

就業管理システム (病院向け) の対象市場



※出典：令和3年医療施設動態調査 (厚生労働省)

ヘルスケア事業の取り組み

③ 海外事業領域の展開

● アジアヘルスケア・プロジェクトの推進

- 国家戦略としてデジタル医療を推進するインドネシアに注力
- 現地パートナーと協業し、国内病院向け製品の海外展開を推進

市場	<ul style="list-style-type: none"> ● 東南アジア地域の医療費増 <ul style="list-style-type: none"> - 1人当たり医療費は過去20年で3倍超 ● インドネシアは国家戦略でデジタル医療を推進
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院向け製品・サービスのローカライズ ● ヘルスケアIT企業との資本業務提携

インドネシア



インドネシア・マレーシアの
8,000以上の医療機関ネットワーク

病院・クリニック向けに、当社薬剤情報システム
製品（DI）の販路拡大に向けた協業を開始

提携
・
協業



病院情報システムベンダー

病院向けに、当社医用画像システム製品に加え、
DIの販売提携を開始

実績



Jakarta Heart Centerで当社DIが採用される
今後、グループ病院などへの展開



強化



(株)インフォコムグローバルインドネシア

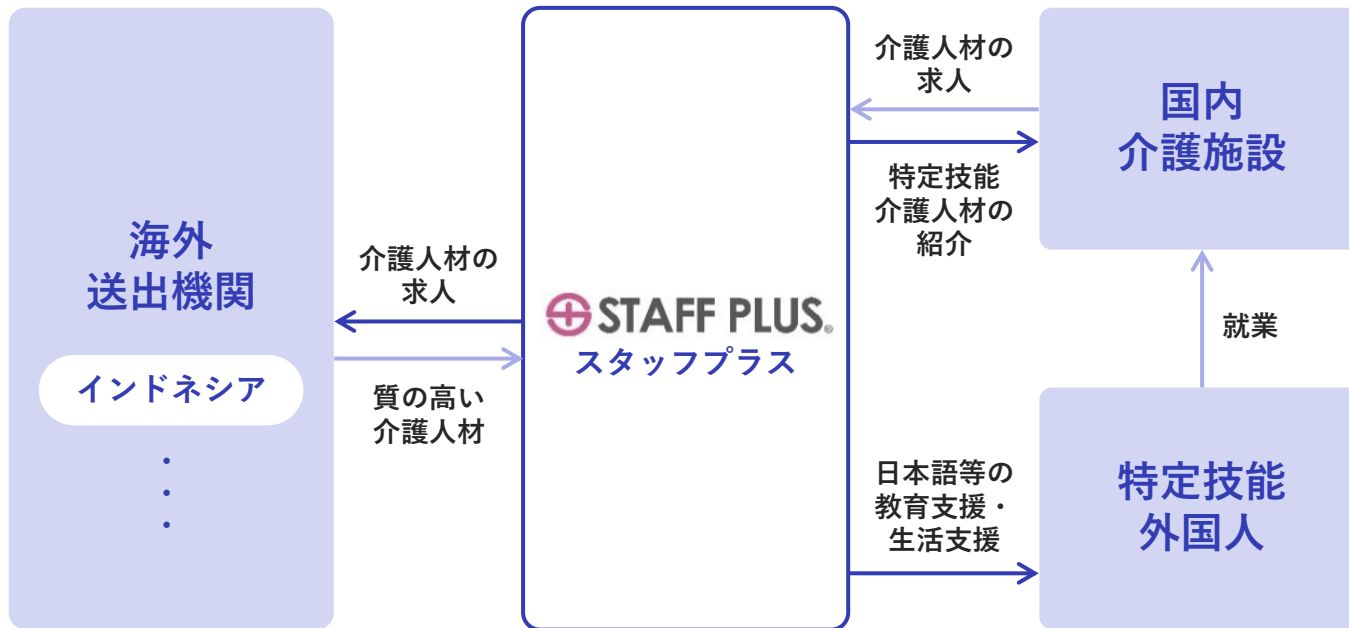
インドネシアにおける現地パートナーとの
協業・活動促進に向け現地拠点を強化

ヘルスケア事業の取り組み 4 新規事業の基盤確立

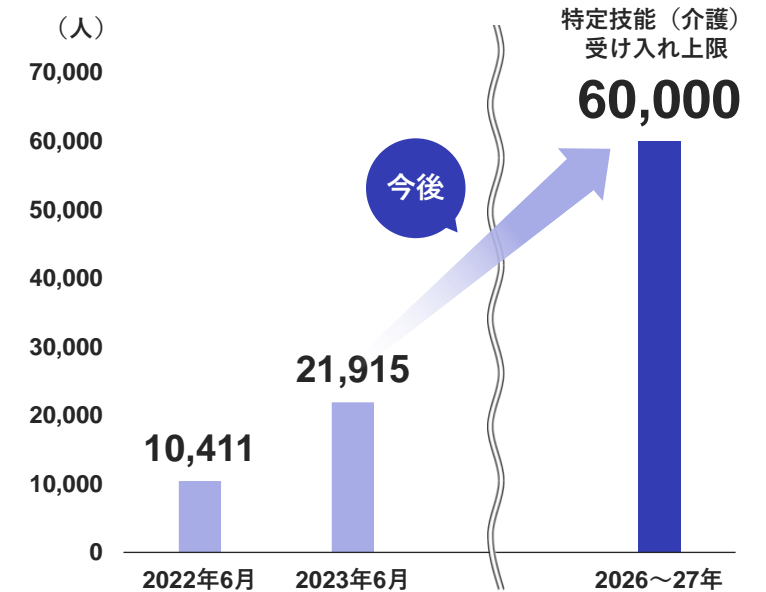
● 外国人介護人材紹介サービスへの本格参入

- グループ会社のスタッフプラス社が、外国人介護人材紹介サービスへ本格参入
- 質の高い教育を受けた優秀な海外介護人材の紹介と、オンラインを活用したきめ細かい教育、生活支援サービスが特長
- 2027年度までに、3,000人の特定技能外国人の介護人材受入を行う計画

外国人介護人材紹介サービスのスキーム



特定技能1号（介護）在留外国人数



※出入国在留管理庁公表データより作成



その他事業の取り組み



危機管理事業のサービス領域拡大 サービス化推進

- 防災テックベンチャーのスペクティ社と資本業務提携（2023年6月）

自社の被災情報を収集する既存サービスに外部状況を広範囲に把握できるサービスを連携した危機管理トータルサービスを展開

ヒト・モノの被災情報

従業員の安否情報
拠点・設備の被害情報



Spectee

外部情報
AIリアルタイム解析

SNS投稿情報、気象データ
道路・河川カメラ情報など

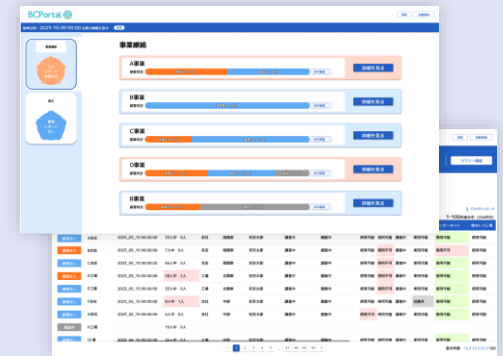
従業員の安否



サプライチェーン全体のリスク可視化

||

迅速・的確な危機管理対応を実現



ICTとリアルビジネスの共創により 新たな価値を提供するサービスカンパニーへ

お問い合わせ先

インフォコム株式会社 広報・IR室



03-6866-3160



pr@infocom.co.jp

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。
また、本資料には数値を億円単位で記載しています。そのため、同数値を用いて計算した場合、一部の経営指標及び増減額や増減率が本資料に記載の数値と異なる場合があります。
本資料は一部を除き2023年9月30日現在のデータに基づいて作成しています。本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。
本資料に記載された意見や予想等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性や完全性を保証、約束するものではなく、また今後予告なしに変更させていただくことがあります。